

第 49 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会【部会①】

日時：2024 年 11 月 6 日（水）

全体会・部会①・部会②・部会③ 10:00～12:00(予定)

場所：JR 東日本現地会議室

次 第

【部会①】

(1)開会

(2)TAKANAWA GATEWAY CITY 第Ⅱ期エリア（5・6 街区）の確認調査報告 【資料 1】

(3)その他

(4)閉会

※なお、資料のなかで個人に関する情報や事業の関係等で非公開である情報については、一部表現を修正しています。その他、写真・図について一部訂正や出典等の加筆・修正をしています。



トレンチ②検出状況(東から)
検出遺構:裏込め石、石垣5段、
根石、胴木、留め杭、群杭



トレンチ③ 石組み遺構検出状況(東から)

写真奥:開業期盛土と複線化に伴う拡張した盛土との境に構築された石組み遺構
写真手前:いずれも西に面を構える石列2条検出。



トレンチ③ 開業期築堤海側法面検出状況(東から)
石列直下より、開業期築堤海側法面で裏込め石を検出。
笠石または築石は未検出



トレンチ④ 検出状況(東から)
石垣1段と裏込め石を検出



トレンチ⑤ 検出状況(東から)
裏込め石を検出



トレンチ⑥ 検出状況(東から)
石垣1段と裏込め石を検出



トレンチ⑨ 土層堆積状況(南西から)
複線化期の盛土とみられる土層の
堆積状況を確認
トレンチの東側では開業期盛土も
一部かかっていると捉えた。

物流仮斜路地区

石垣

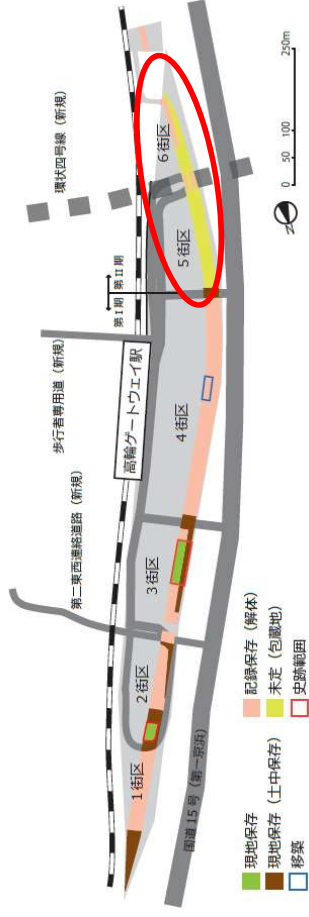
0 40m
(1/1,000)

←東京方面

第一京浜

品川方面→

確認調査は、高輪築堤跡の残存状態を確認するために令和6年9月から開始し、現在も調査を継続しています。対象地にトレンチ9箇所を設定しており、今回の速報ではそのうちの3箇所で検出された遺構についてご報告します。



高輪築堤跡の発見範囲と調査位置

確認調査の対象地は、TAKANAWA GATEWAY CITY 第Ⅱ期エリア(5・6街区)です。

現地表面から50cm程で、高輪築堤跡の盛土が確認されました。
現在調査を行っているトレンチではすべて同様の深さで盛土が確認されています。



トレンチ2 開業期海側石垣検出状況(東から撮影)

下から胴木、根石、石垣5段を確認しました。上部の築石は残っており、裏込めの石が露出しています。
トレンチ壁面の様子から、海砂、白色粘土、ローム土を用いて海側から埋め立てている状況が確認されました。



トレンチ4 開業期海側石垣検出状況(東から撮影)

現地表面から約2mまでの深さで確認を行った結果、開業当初の石垣1列分が確認されました。それより下では裏込め石を検出しています。



トレンチ6 開業期海側石垣検出状況(北から撮影)

トレンチ4の検出状況と類似して、石垣1列とその下は裏込め石が露出した状態を確認しました。

トレンチ(調査区)配置図



トレンチ2～7で高輪築堤開業期(明治5年)の海側石垣の痕跡を確認しました。石垣の痕跡が確認された最も高い位置を——で示しています。